

◇ まもなく梅雨入り、梅雨の特徴を知ろう！ ◇

乾燥に悩まされた冬も終わり、夏まっしぐらと行きたいところですが、その前に多湿でジメジメの梅雨があります。

梅雨は、北海道と小笠原諸島以外の全国各地に毎年発生する気象現象です。毎年、同じくらいの時期に梅雨入りいたしますが、5月に入り沖縄から梅雨入りが始まります。梅雨入りの特徴は、初めはシトシトと静かに雨が降る日が多くなり、日中の気温もさほど上がらず、朝と夕方の温度がほぼ一定しており、わりと過ごしやすいと思うことが多いのです。

梅雨の半ばになると雨続きから突然、真夏日になったりしますが、これは梅雨の中休みで梅雨が明けた訳ではありません。この中休みの時期は晴れの天気が続き気温も一気に上昇して体調を崩し、熱中症にかかる人が多い時期です。

梅雨の後半になると雨量が多くなり、豪雨が続くこともあります。これは台風が梅雨と重なってくるのが原因と言われております。この時期は洪水や土砂崩れに注意する必要があります。

このように梅雨には段階があり、梅雨の特徴を把握しておくことで、事前に備えをしておいて梅雨を上手に乗り切りましょう。

住宅においても、高湿度による問題が発生する可能性があります。

◇ 湿気による住宅内部の問題点 ◇

梅雨時は雨も多く、気温も上昇して高温多湿の状態となり、とても不快な生活環境になります。このような生活環境の悪化を防ぐためにも、しっかりとした「湿気対策」を行わなければなりません。

湿気による問題と言えば「カビ」ですが、「カビ」は水回りを中心に住まいの至る所に発生する可能性があります。結露やダニなどの発生、押し入れ内の臭い、タンス後ろのシミなどの原因は、その多くが湿気原因のようです。

住宅内での湿気被害は意外と多く、湿気対策を怠っていると構造体である木材の腐朽にもつながり、耐久性が悪くなります。さらに洗濯物の室内干し頻度が高い高湿度環境となる家庭では、喘息やアトピー性皮膚炎、鼻炎などのアレルギー症状が出る割合が高いという実験データも出ています。

これは高湿度によるダニの発生が原因ですが、このような問題を発生させないためにも、しっかりとした「湿気対策」を行なうことが、住む人の健康や住宅の耐久性に大きく関係することを理解する必要があります。

◇ 住宅内における湿気対策 ◇

カビ対策の基本は充分な換気を行なうことです。清々しく晴れた日には思い切って、押し入れやクローゼットの扉を開けて風を通し、風の通りにくい場所にある押し入れなどには除湿機を活用しましょう。

ダニ対策も、湿度を抑えることと掃除が基本です。結露ができないように気をつけ、もしも結露が出たらすぐにふき取ることが大切です。下記に主な湿気対策をご紹介します。

【主な湿気対策とは】

- 天気の良い日は窓を開放して換気を行なう。
- 家具と壁の間に空気が通るように隙間をあける。
- 結露が発生したらすぐに拭き取る。
- キッチンの換気扇を有効活用する。
- 必要以上に観葉植物を置かないようにする。
- 押し入れにはスノコを設置して空気を回りやすくする。など・・・

(著 柳田貴志)

孝太の知恵袋

自動車の内窓清掃

春になり、洗車をする機会が多くなってきました。マメな人の場合、カーシャンプーを使ってボディの汚れを落とし、ふき取ってから、ワックス仕上げを行ない、ピカピカにしていますね！

しかし、外装はキレイになっても、フロントガラスの内窓に油膜があり、とても気になることがあるかと思えます。そして、いざ油膜をとろうと思っても中々完璧に汚れが落ちなく、苦労されることが多いですね。

内窓は、窓を開けた時に舞い込んできたゴミや埃、タバコのヤニなどが付着して汚れていて、出来れば定期的に清掃を行う必要がありますが、そのままにしておくとも簡単に取り除くことができなくなります。

そんな時の簡単掃除方法をご紹介します！

準備する物は乾いたタオルと濡れたタオルです。まずは濡れたタオルで汚れを落とし、最後に乾いたタオルで仕上げます。頑固な汚れの場合は、この作業を2、3回繰り返します。

どうしても取れない汚れの場合は、カー用品店やホームセンターで内窓専用スプレーなどを購入し、改善することができますが、費用も掛かりますので出来る限り定期的な内窓清掃をお勧めします！

